

金融庁 & GSG国内諮問委員会共催
インパクト投資に関する勉強会
第1フェーズの到達点と今後の課題

コメントを踏まえた主な修正点

2021年9月3日

事務局

安間 匡明

「第1フェーズの到達点と今後の課題」の位置づけ

- 本ペーパーは、これまでの議論内容と成果・今後に向けた課題を取りまとめたもの
- 本ペーパーを作成・発表の上、フェーズ2の勉強会のテーマの設定・運営に繋げることを目的としている

主な修正点

1. 投融資先とポートフォリオでのIMM実施の必要性
2. 地域金融機関の果たす大きな役割
3. インパクト創出と経済的リターンの好循環
4. 多様化しているプレイヤーとの連携
5. IMMの深化のための事例共有と実務への落とし込み
6. IMMの深化のためのインパクトを含む非財務情報の開示
7. その他文意を分かりやすくするための文言修正

【1】投融資先とポートフォリオでのIMMの実施の必要性

【該当箇所】

II. 主な議論 (1) 全アセットクラス 第3パラ

「IMMの実践においては、投融資プロセス全体に～

改定趣旨：IMMは投融資先レベルとポートフォリオレベルの**双方で実施**すべきという意見が出た点をより明確化したもの

【2】地域金融機関の果たす大きな役割

【該当箇所】

・II.(2)個別アセットクラス

融資を通じたインパクト投資 第2論点

「地域金融機関は地域における雇用基盤である～

改定趣旨：地域金融機関が中小企業を含む地域経済に果たしている役割をより具体的に記し、大学等の専門機関、地域の経営者団体等も含む地域全体のプレイヤーとの連携の重要性を踏まえた記述にしたもの。

【3】インパクト創出と経済的リターンの好循環

【該当箇所】

III. 到達点と今後の課題

「第一はインパクト創出と経済的リターンが相関しているケースが存在することに対する認識が広まっていないことである～

改定趣旨：インパクト創出と経済的リターンが相関するケースの認知度を上げて、好循環を作り出す必要性、という趣旨を明確にしたもの

【4】多様化しているプレイヤーとの連携

【該当箇所】

III.到達点と今後の課題

「第二に、そうした好事例を増やすためには～」

改定趣旨：インパクト投資と自ら名乗らないが、インテンションとインパクト測定を伴う、インパクト投資と実質的に同等な活動が出現してきており、その観点からも、多様なプレイヤーの呼び込む必要性について言及。

【5】IMMの深化のための事例共有と実務への落とし込み

【該当箇所】

III.到達点と今後の課題

「第三に、アセットクラス毎にIMMなどのインパクト投資手法の発展度合い、求められる内容が異なることである. ～」

改定趣旨:アセットクラス毎の議論が必要であり、また、IMMの深化のためには、国際的枠組みにも沿う好事例の国内での共有、実務への落とし込みのために、金融機関に対するIMMの知見の提供を通じたIMMの普及・定着を図ることが重要。

【6】IMMの深化のためのインパクトを含む非財務情報の開示

【該当箇所】

- ・II.(1)全アセットクラス 第3パラ 最終文
- ・II.(2) 上場株式・債券 第8論点
- ・III.「第三に」パラ 末尾 「特に上場企業の～」

改定趣旨：IMMを円滑に実施し、そのコストを削減するため、インパクトを含む（特に上場企業の）非財務情報の開示が重要である旨記載。また、非財務情報開示に関する国際的枠組みの進展や本邦企業の自主的な開示への取組みが進むことを踏まえてIMMのあり方について議論する必要がある、旨を記載。